

## 1 目的

- 東京の魅力を高めるため、東京2020大会、さらに大会後も引き続き、夜間景観に磨きをかけていく
- 東京の夜間景観の大きな要素を占める公共施設からライトアップを先行して実施し、民間施設へ波及させていく

## 2 対象施設

### 都有施設

【公共建築物】 文化施設（博物館等）、歴史的建造物、大学、市場、庁舎、スポーツ施設

【インフラ】 道路、橋梁、河川、鉄軌道駅・鉄道橋、港湾・海岸施設、公園・庭園、空港・ターミナル

※国・区市の公共施設や公共性の高い鉄道駅等の民間施設に協力依頼  
※ライトアップの対象施設は、施設や地域の特性を踏まえて検討

## 3 課題

### ○「光害」の影響

- ⇒ 漏れ光による居住者の安眠阻害、歩行者への不快なグレア
- ⇒ 昆虫や植物の光合成などの生態と夜空の明るさへの影響

### ○省エネルギー化・再生可能エネルギーの利用

- ⇒ 照明施設のインシャルコストとランニングコストを抑える配慮が必要（→LED化や再生可能エネルギーの積極的な採用）

### ○地域環境への配慮

- ⇒ 地域性や都市構造と密接した夜景への配慮（繁華街、住宅地等）
- ⇒ ライトアップ施設の周辺住民等への配慮

### ○ライトアップの効果検証

- ⇒ 事業コスト削減の努力と可能な手法で効果検証を実施

### ○観光資源としての夜間景観

- ⇒ 観光資源としての更なる活用

## 4 基本的な考え方

### 《目標》

- 【短期】東京2020大会までに、東京を代表するエリアの夜間景観の向上
- 【中長期】夜間景観の向上に取り組むエリアの充実・順次拡大（2020年～2040年）

### 《コンセプト》

#### コンセプトⅠ 光環境の整備

⇒ 照明設備を新設・更新する際、光害や省エネルギーに配慮した照明を整備

#### 《光環境に配慮した事例》

- ・眩しい光を極力抑えた適切な遮光性能を有する器具を使用
- ・外からの光が有害な影響を及ぼさないよう、上方に無駄な光を拡散させない

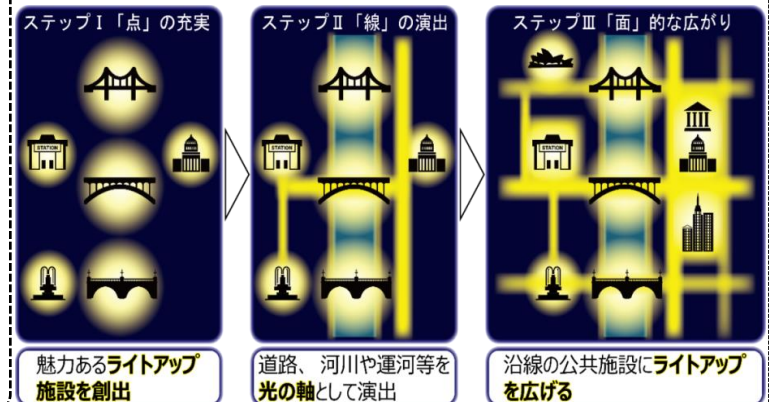


#### コンセプトⅡ みられる光の計画的な創出

⇒ 「点」から「線」、「面」に光を連続

#### 《ライトアップに適する公共施設の例》

- ・構造的にしっかりしていて、希少性がある施設
- ・地域のランドマークとなっている施設
- ・歴史的・文化的に有名な施設
- ・景観上重要な道路、交通拠点施設（鉄道駅）



## 5 事業の推進方策

### ○ 重点エリアの設定

「重点エリア」として、当面3か所設定

⇒公共施設のライトアップを重点的かつ一体的に進めるエリア

《重点エリア設定の考え方》

- ☆ 東京の顔として発信力が高いエリア
- ☆ 東京を象徴する歴史・文化や水辺・緑が感じられるエリア
- ☆ 東京2020大会に向けて、国内外からの注目度が高まるエリア



#### 東京駅・皇居 周辺エリア

- ・皇居周辺や濠等、日本を代表する景観形成地
- ・東京の玄関口であり、多くの観光客が訪問するエリア

#### 赤坂・外苑 周辺エリア

- ・東京2020大会に向けて、国内外からの注目度が高まるエリア
- ・ライトアップを実施している歴史的な建造物が存在

#### 隅田川・臨海部エリア

- ・東京2020大会施設等が集積するエリア
- ・浅草から臨海副都心のエリアは舟運観光スポット
- ・東京港の運河や臨海地域では、都市施設と一体となった夜景スポットが存在

### ○ 重点エリアにおける取組

重点エリア内において、現時点で取組を実施 又は検討している施設を示す。

#### 隅田川・臨海部エリア

##### 【隅田川地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・隅田川を「光の軸」とし、隅田川橋梁群等ライトアップ拡大とテラス照明整備の推進
- ・隅田川沿いの公園や公共建築物等のライトアップを促進し、光を面的に展開
- ・ライトアップ施設と周辺集客施設のタイアップにより、水辺の賑わいを創出

＜主なライトアップ施設＞

柳橋、桜橋、隅田川テラス、豊海橋、高橋、南高橋、新大橋、萬年橋、中央大橋、湊橋、新亀島橋、西仲橋、石川島灯台モニュメント  
隅田川テラス、隅田川橋梁（東武鉄道）、吾妻橋、駒形橋、厩橋、蔵前橋、清洲橋、永代橋、佃大橋、勝鬨橋、築地大橋

##### 【勝どき・晴海・豊洲・臨海副都心地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・運河を渡る橋梁のライトアップ整備の促進
- ・運河等のライトアップの基本的な考え方を今後整理

＜主なライトアップ施設＞

臨海副都心のアウェアネスカラー、東京ビッグサイト、晴海客船ターミナル、シンボルプロムナード公園夢の大橋、お台場海浜公園、桜小橋  
豊洲大橋

■ 実施済みの施設 ⇒平成28年度末までに実施された施設を対象(イベント除く) ■ H32年度までに実施予定の施設



※ライトアップイメージ



## 隅田川・臨海部エリア

### 【芝浦・日の出・品川・天王洲地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・運河等のライトアップの基本的な考え方を整理
- ・日の出頭の上屋や芝浦地区の水門等のライトアップを推進
- ・芝浦運河や高浜運河等に架かる橋梁等のライトアップを促進
- ・運河沿いの大規模再開発などと連携し、公共施設のライトアップを促進
- ・目黒川に架かる橋梁や護岸のライトアップを促進

＜主なライトアップ施設＞

レインボーブリッジ、竹芝客船ターミナル、天王洲アイル

日の出頭（上屋等）プラタナス公園、夕彩橋、新芝橋、渚橋、御檣橋、浜路橋、目黒川に架かる橋梁や護岸（対象施設を調整中）、運河エリア芝浦地区（（仮称）芝浦一丁目計画等）、運河エリア天王洲地区（水門等）

港栄橋、浦島橋、末広橋、新芝浦橋、東芝浦橋、香取橋付近、港南公園D、港南公園C、港南緑水公園、高浜公園、品川駅港南ふれあい広場、新港南橋付近、新東海橋、浜離宮恩賜公園、田町西口デッキ、田町東口デッキ、鹿島橋、霞橋、竹芝橋、船路橋、百代橋、夕凧橋、芝浦橋、楽水橋、香取橋

### 【大井地域】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・運河等のライトアップの基本的な考え方を今後整理
- ・運河に架かる橋梁のライトアップ整備の促進
- ・大井競馬場のライトアップ整備の推進

＜主なライトアップ施設＞

大井競馬場、京浜運河に架かる橋梁（対象施設を調整中）  
京浜運河沿いの整備

## 東京駅・皇居周辺エリア

### 【東京駅及び皇居周辺】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・日本橋川沿いの大規模再開発等で、整備する公共施設のライトアップの促進
- ・皇居前広場等のライトアップの整備促進
- ・皇居周辺の公共施設のオープンスペースを利用したライトアップの促進
- ・希少動植物の存在が確認されている箇所は、ライトアップを控える

＜主なライトアップ施設＞

法務省旧本館、国会議事堂、丸の内仲通り、東京国際フォーラム、和田倉噴水公園、東京駅

最高裁判所、旧江戸城外桜田門、和田倉橋、皇居前広場、行幸通り  
日本橋一丁目中地区、日比谷公園、日比谷公会堂

## 赤坂・外苑周辺エリア

### 【赤坂及び外苑周辺】

＜今後のライトアップの展開＞

- ・イベントにあわせた街路樹等のライトアップの推進
- ・迎賓館前のにぎわい空間の創出と連携した道路等のライトアップの推進

＜主なライトアップ施設＞

迎賓館赤坂離宮（夜間公開時）、イチョウ並木通り、特例都道外濠環状線

■ 実施済みの施設 ⇒平成28年度末までに実施された施設を対象（イベント除く）

■ H32年度までに実施予定の施設

■ H32年度以降に実施予定の施設

■ 今後検討が想定される施設

竹芝客船ターミナル



天王洲アイル



丸の内仲通り



東京駅



## ○ 「照明デザイン計画」の作成

- 効果的なライトアップを行うため、施設管理者等は、必要に応じ、照明デザイン計画を作成

## ○ 社会実験等による周辺環境への影響の把握

- 施設のライトアップに際し、周辺環境への影響が懸念される場合、説明会や社会実験等を実施

## ○ 民間都市開発と連携したエリアの光環境の向上

- 民間開発者が大規模開発を行う場合、東京都景観計画に基づき、周辺と調和したライトアップ施設を設けるように要請

## ○ 施設のライトアップ補助制度

- 都内の建造物を保有する民間事業者、区市町村等が補助対象者となり、個々の施設のライトアップ経費の一部を補助

(平成29年度から、産業労働局が「建造物のライトアップモデル事業費補助金」を実施)



東武スカイツリーライン 隅田川橋梁ライトアップ事業  
(提供: 東武鉄道株式会社)

## ○ 都市観光施策等との連携

- 水辺を活かした観光を促進するために、舟運の活用や民間による河川空間の利活用を推進
- テラス照明の設置や沿川施設のライトアップを行うことで、水辺のにぎわいづくりを促進



夜景クルーズ

## ○ 施設管理者以外の第三者によるライトアップの参加促進

- 地域のまちづくり団体やイベント事業者等、施設管理者以外の第三者が、ライトアップに参加できるような環境整備を進める

## ○ 公共施設間の「光の調整」

- 実施スケジュールを踏まえながら、必要に応じ、「関係者間の連絡会」を設置し、近接する公共施設間の光の調整を図っていく